

第72回四日市市民芸術文化祭行事

Symphony No.9

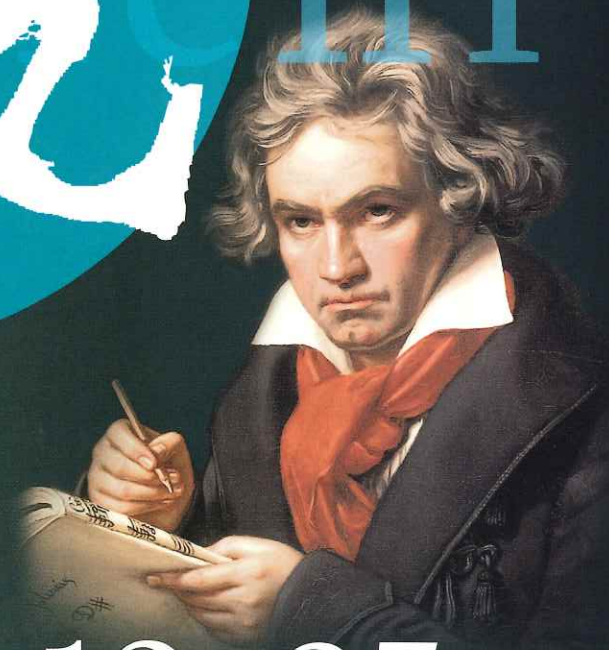
四日市

第九



指揮 井村誠貴

管弦楽 セントラル愛知交響楽団



ヨハン・シュトラウス2世  
「こもり」 — 序曲 —

F. レハール  
「メリー・ウイドウ」 — イントロダクション、舞踊曲とヴィリアの歌 —

C.M. シェーンベルク  
「レ・ミゼラブル」 — 民衆の歌 —

J. ハーマン  
「ラ・カージュ・オ・フォーール」 — The Best of Times 今この時 —

佐藤 眞  
「大地讃頌」

L.V. ベートーヴェン  
交響曲第九番ニ短調 作品 125 [合唱付]

2022年

12月25日 日

14:00 開演 [13:00 開場]

四日市市文化会館 第1ホール

ソプラノ 奥村育子 アルト 嶋原美友紀

テノール 本多信明 バス 西元 佑

合唱 2022 公募市民合唱団「フロイデ」

賛助出演 女声アンサンブル Marimo 座

指定席 A 3,500 円 (当日 3,800 円) 指定席 B 3,000 円 (当日 3,300 円)

一般自由席 2,500 円 (当日 2,800 円) 高校生以下自由席 1,500 円 (当日 1,800 円)

\* 未就学児入場可 (4歳以上は有料にて客席をご利用いただけます。)

\* 3歳以下は親子室にて鑑賞いただけます。(室料は無料:定員2家族のみ。ご希望の方は下記事務局までお申込みください。)

チケット取り扱い: 四日市市文化会館にて9月1日(木)より発売(9時~19時 月曜休館、第2月曜は除く。)

メールでのお申込みも受け付けます。→ e-mail: yokkaichinodai9@gmail.com

お問い合わせ: 四日市の第九実行委員会事務局 TEL 070-4317-9643 (細谷)

【主催】四日市市 一般社団法人四日市市文化協会 【主管】四日市の第九実行委員会

【助成】公益財団法人くわしん福祉文化協力基金 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団 【寄付】公益財団法人ささえあいのまち創造基金

【後援】四日市市教育委員会 公益財団法人四日市市文化まちづくり財団 (株)シー・ティー・ワイ 中日新聞社

・今後の社会情勢により、中止を含む変更をする場合があります。 ・ご来場には必ずマスク着用をお願いします。着用がない方はご入場をお断りする場合があります。  
・ご入場の際には検温を実施します。37.5℃以上の熱がある場合は入場をお断りします。 ・花束等出演者への贈り物は辞退させていただきます。 ・その他感染症対策にご協力をお願いします。

## 指揮 井村誠貴

指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にもオペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会における「シュトラウスII『ウィーン 気質』」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。2013年には年間オペラ公演回数数が日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらにOsaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団)、シエナ・ウィンド・オーケストラ、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォーレ」(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レ・ミゼラブル」(山口祐一郎)、「ベネチアと詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安蘭けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、南こうせつ、夏川りみ、佐々木秀実、といった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。また、「浪連のモーツァルト:キダ・タロー」の作品の編曲も手掛け、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには作曲、編曲、作詞も手掛け、マルチな才能を発揮。2011年には「岐阜3000人の第九」を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン!」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲を一人で指揮。そのギネス級の活動は大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5136万円を超える義援金を届けた。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間100公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。春日井市第九演奏会音楽監督、関西音楽人のちから「集」代表



## 管弦楽 セントラル愛知交響楽団



1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。

## 合唱団 2022 公募市民合唱団「フロイデ」(音楽監督:馬場浩子)

2004年に開催された「四日市の第九」が好評を博し、以後、毎年末に開催している。合唱団「フロイデ」は「四日市の第九」を歌う目的で、毎年公募により市民合唱団として構成される。2008年に合唱団「フロイデ」と命名。予備講座(初心者中心)とリピーターも合流しての本講座併せて20回程度の練習(約半年間)を経て舞台上立つ。演奏の質の高さには定評があり、約250名の大会唱で聴衆を魅了している。今年は19回目となるが、ここ2年間はコロナ禍のため本番を目前にして中止に追い込まれるなど困難な状況が続いている。無事の開催を願い本年も5月より予備講座がスタートしている。合唱団「フロイデ」のメンバーから絶大な信頼を得ている井村誠貴氏が本年も指揮を務める。



## 賛助出演 女声アンサンブル Marimo 座

2010年結成。アンサンブル曲に積極的に取り組み、絶妙なハーモニーに定評がある。宗教曲から邦人作品まで幅広いレパートリーをもち、2016年8月にはウィーン国立歌劇場、聖ステファン大聖堂での海外演奏、2019年8月にはイタリア、サン・ピエトロ大聖堂等での海外演奏にも参加。地元音楽関係者から高い評価を受ける。2019年秋には湯山玲子氏プロデュースの爆クラアースダイバー vol.3「トンネルのクラシック」in 愛岐トンネルに出演。現在メンバーは主宰馬場浩子と17名。



### ソプラノ 奥村育子

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院を首席で修了。在学中に2012年度中村桃子賞受賞。第67回全日本学生音楽コンクール 声楽部門大学の部全国大会 第2位、第7回岐阜国際音楽祭コンクール 声楽部門一般I 第1位等、その他多数コンクールにて入賞。オペラ《奥様女中》《魔笛》《こどもと魔法》《カルメン》オペレッタ《白馬亭にて》《こうもり》《伯爵令嬢マリツァ》ミュージカル《ライト・イン・ザ・ビアンツァ》等で出演。J.S.バッハ《ロ短調ミサ》ハイドン《天地創造》ベートーヴェン《交響曲第九番》ソプラノリストとして出演。2019年7月、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演。これまでに水野麻美、末吉利行の各氏に師事。同期高等学校音楽科 非常勤講師、もりっこ彩合唱団指導者。



### アルト 嶋原美友紀

国立音楽大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院修士課程独唱科修了。ウィーン国立音楽大学ポストグラデュアーレ声楽専攻修了。平成21年度岡田文化財団奨学生。読売中新人演奏会出演。第11回みえ音楽コンクール大学・大学院生の部第1位(2位なし)と共に岡田文化財団賞受賞。第17回友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。小澤征爾オペラ塾「カルメン」「こうもり」の舞台に参加。モーツァルト「魔笛」ダマーII、ラヴェル「子供と魔法」ママ・ねこ・りず、ファンパティン「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼルなどで出演する他、宗教音楽のアルトソロや、ベートーヴェン「第九」(松阪市、亀山市、四日市市、埼玉県飯能市、東京都台東区、日本橋三越、横浜交響楽団定期演奏会など)のソリストを務める。三重オペラ協会演奏会員。



### テノール 本多信明

愛知県名古屋出身。名古屋大学卒業。第45回、第47回イタリア声楽コンクールにおいて金賞、テノール特賞、第15回大阪国際音楽コンクール声楽部門一般の部第3位、第5回東京国際音楽コンクール新進声楽家部門第2位、等受賞。名古屋二期会オペラ「椿姫」アルフレード(アンダースタディ)、ガスチン、「愛の妙薬(ハイライト)」ネモリーノ、「ボエーム(ハイライト)」ロドルフォ、「魔笛(ハイライト)」タミーノ、名古屋二期会オペラ「ホフマン物語」ナタナエル、スパンランツァーニ、芸創コラボオペラ「藤戸」(尾上和彦作曲)千島役等で出演。2016年、2018年にソロサイトを開催した(ピアノ:石山英明氏)。名古屋二期会準会員。名古屋音楽大学非常勤講師(音声学)。公式HP(<https://nobuakihonda.com>)



### バス 西元 佑

名古屋芸術大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業。同大学院修了。様々なオペラ公演に参加し「フィガロの結婚」フィガロ「コジ・ファンツァ」ドン・アルフォンソ、グリエルモ「ドン・ジョヴァンニ」レポレロ「白馬亭にて」レオポルト「メリー・ウィドウ」ツェータ「天国と地獄」ブルート「ごんぎつね」兵十などを演じる。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV J.シュトラウスII世 喜歌劇「こうもり」に参加。橋爪圭子、澤脇達晴各氏に師事。